

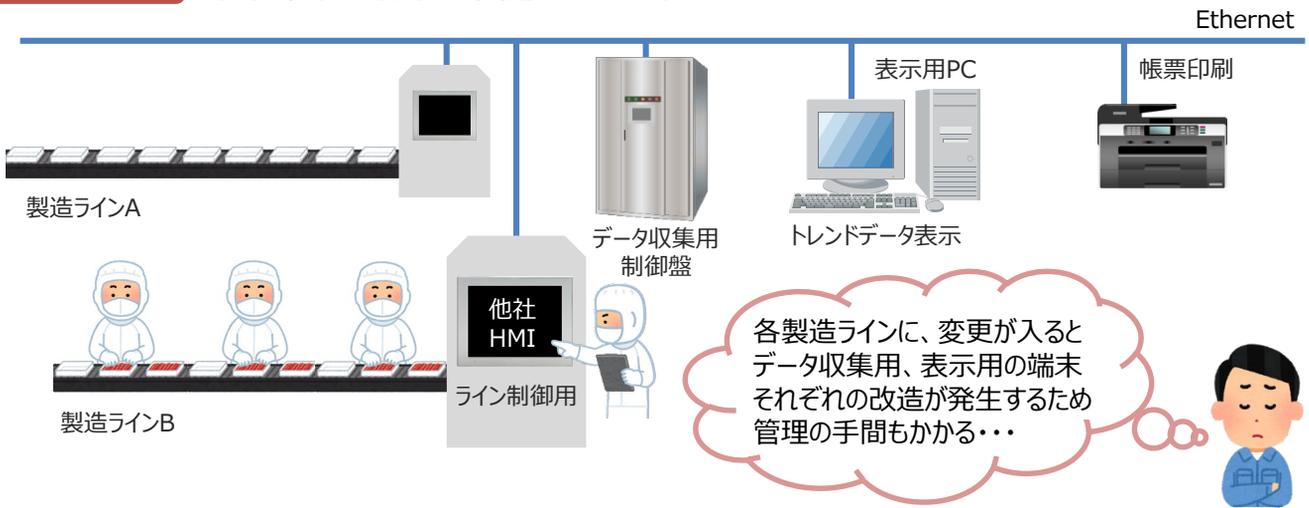
## 【運用改善のご提案】 X1シリーズ導入によるタッチパネルとPCの統合化！

### X1シリーズのご紹介

製造現場のスマート化を目的に、エッジコンピュータとして開発されたモニタッチの新モデルです。またHMIとしての制御系用途に加え、Windows搭載により、製造現場でWindowsアプリを使用できます。

#### Before

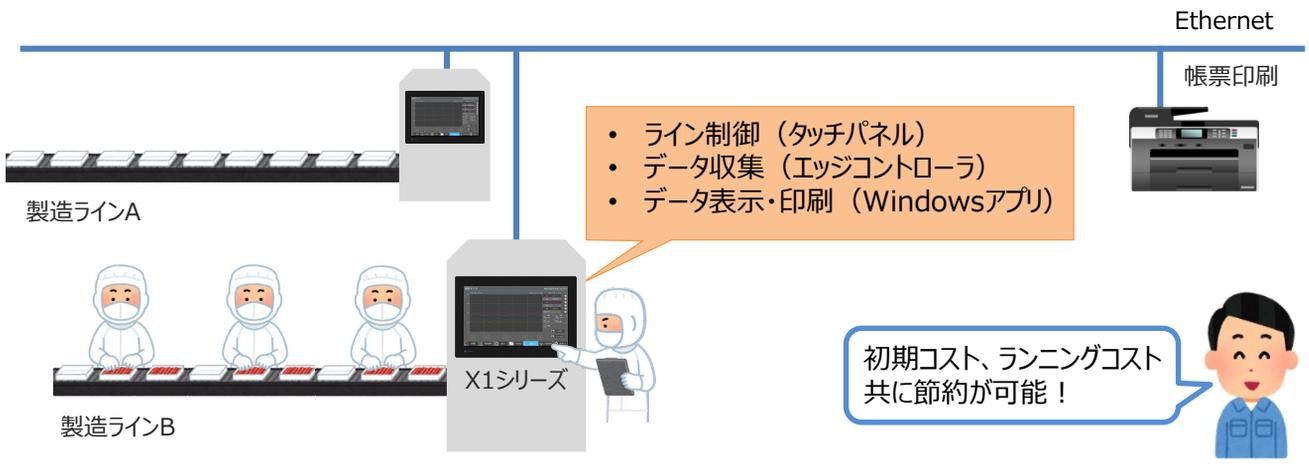
ライン制御用HMI、データ収集用制御盤、帳票印刷・トレンドデータ表示用PCを設置するので、初期費用がかかっていた…



## X1シリーズを導入すると！

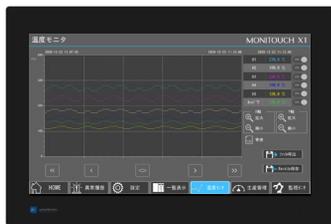
#### After

データ収集用制御盤＋帳票・トレンドモニタ用PCをX1シリーズに統合化！  
X1シリーズで1台3役を実現！



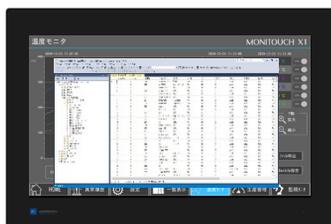
## X1シリーズ導入でできること

### ・ ライン制御（タッチパネル）



- ライン制御用HMIとして、モニタ・操作ができます。
- 電源投入時はHMI画面を表示し、Windows搭載を意識せずに運用できます。

### ・ データ収集（エッジコントローラ）



- X1シリーズのMESインターフェース機能を使用して、データ収集できます。

### ・ データ表示・印刷（Windowsアプリ）

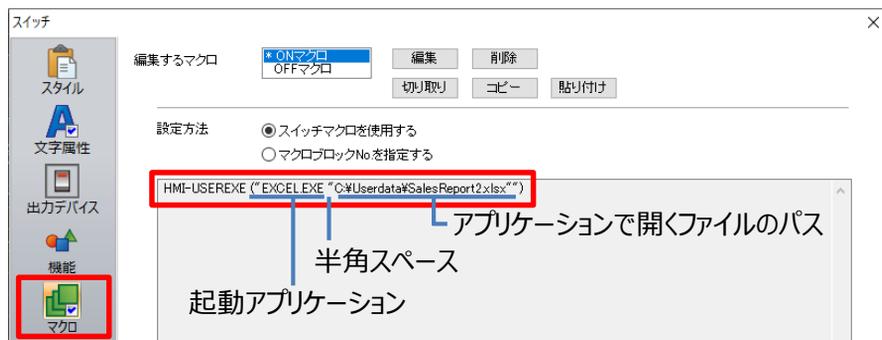


- Windowsアプリを起動して、収集したデータの表示ができます。
- ネットワークプリンタと接続し、X1シリーズから印刷ができます。

## Windowsアプリ起動方法

X1シリーズでWindowsアプリを起動する場合、マクロコマンド「HMI-USEREXE」を使います。

例) スイッチでExcelを起動する場合



\* マクロコマンドについて、詳しくは『X1シリーズ リファレンスマニュアル2』または『V9シリーズ マクロリファレンス』を参照してください。